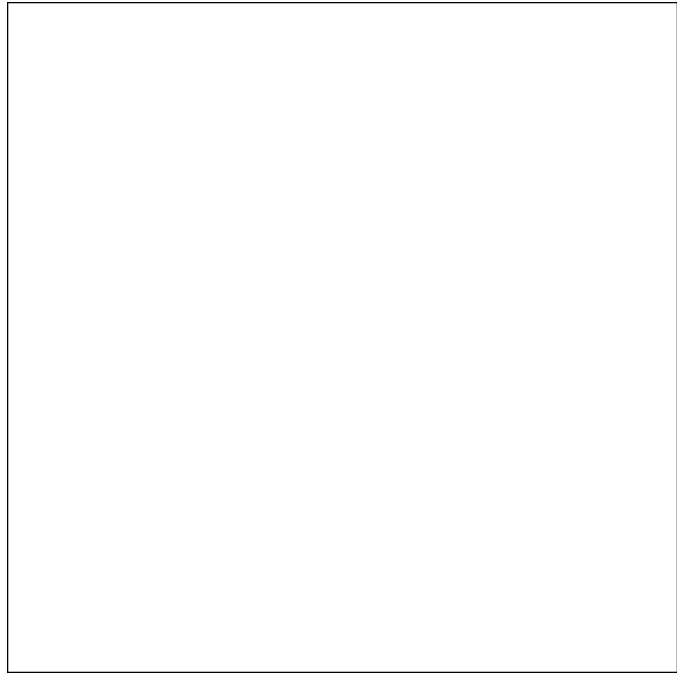




(imageless edition)

Level 2

Ursula Nafula
Vusi Malindi
Naoko Tanaka
Japanese



決意



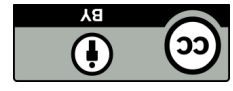
Storybooks Canada

storybookscanada.ca

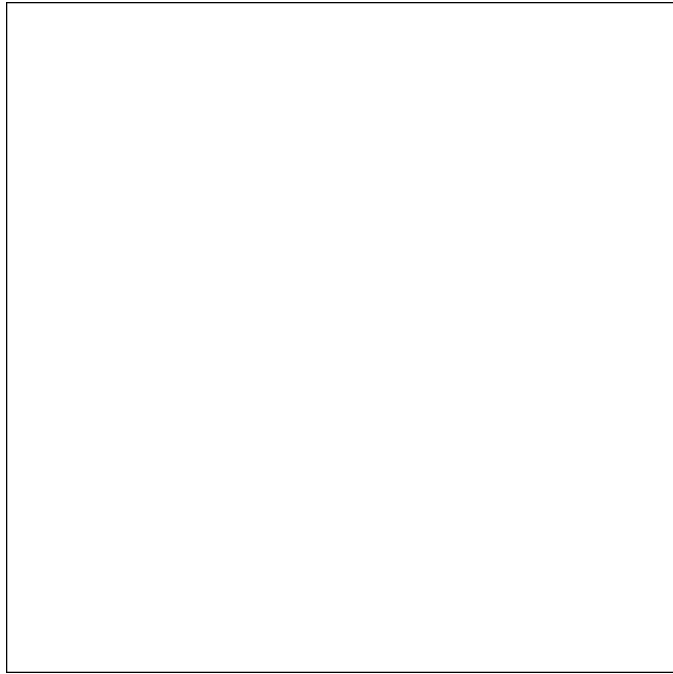
決意

Written by: Ursula Nafula
Illustrated by: Vusi Malindi
Translated by: Naoko Tanaka

This story originates from the African Storybook (africanstorybook.org) and is brought to you by Storybooks Canada in an effort to provide children's stories in Canada's many languages.

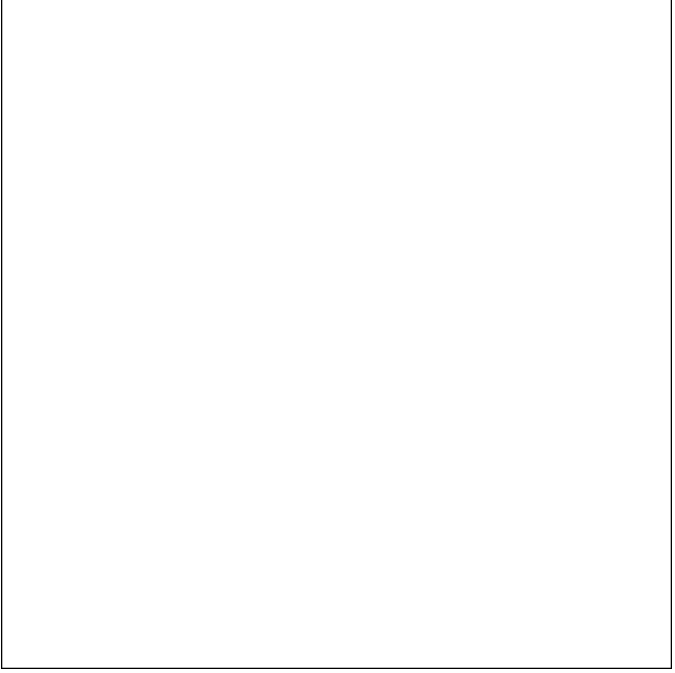


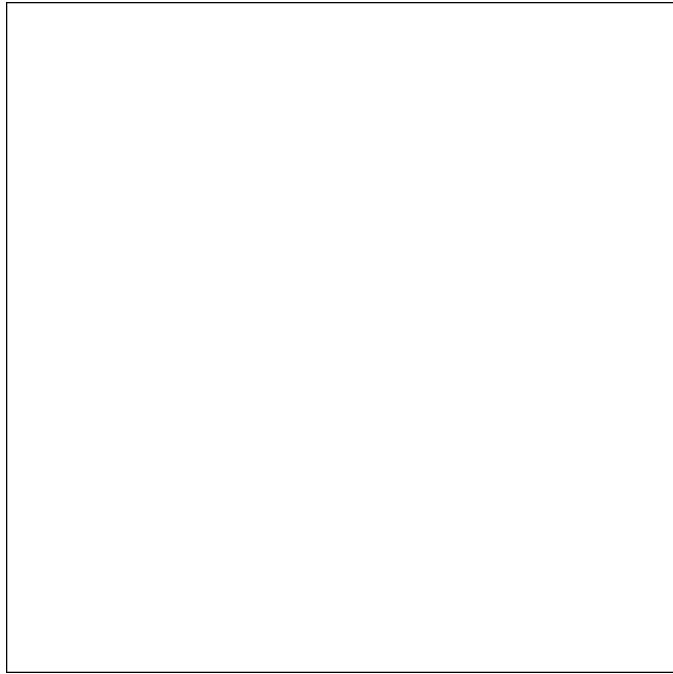
This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0>



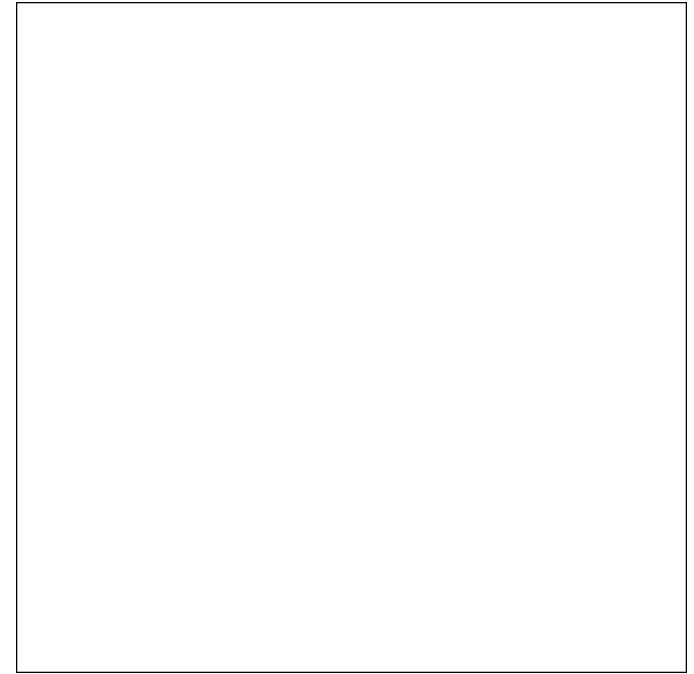
私の村はたくさん問題をかかえていました。私たちは一つの蛇口から水を汲んでくるのに長い列をつくっていました。

私たちは他人が寄付してくれる食べ物
を待っていました。



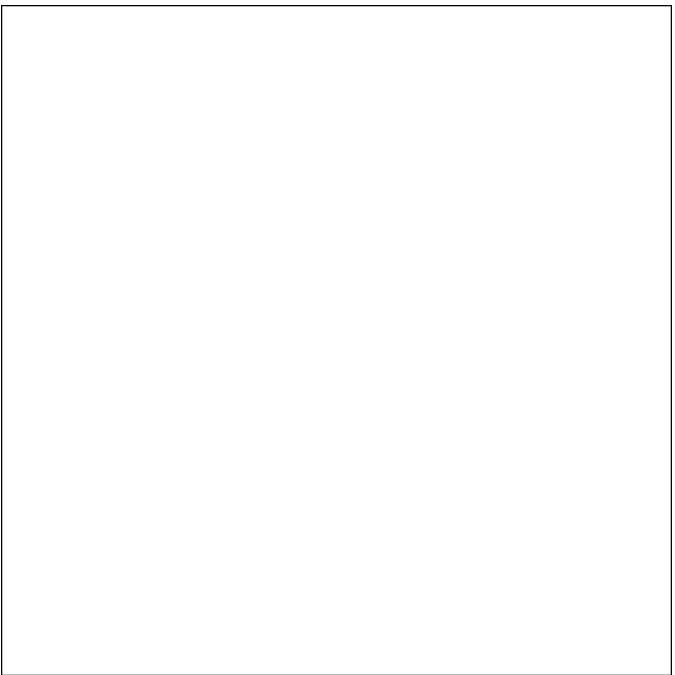


私たちは泥棒のために早くに家の戸締りをしていました。

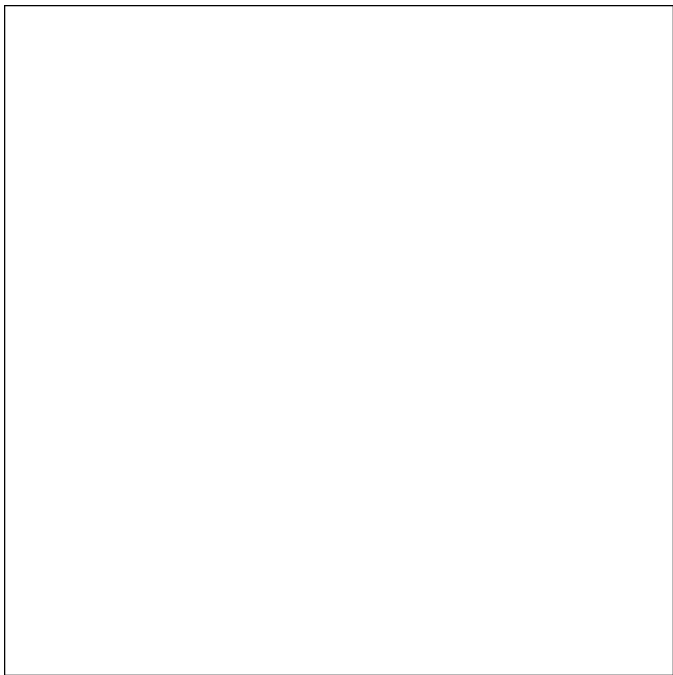


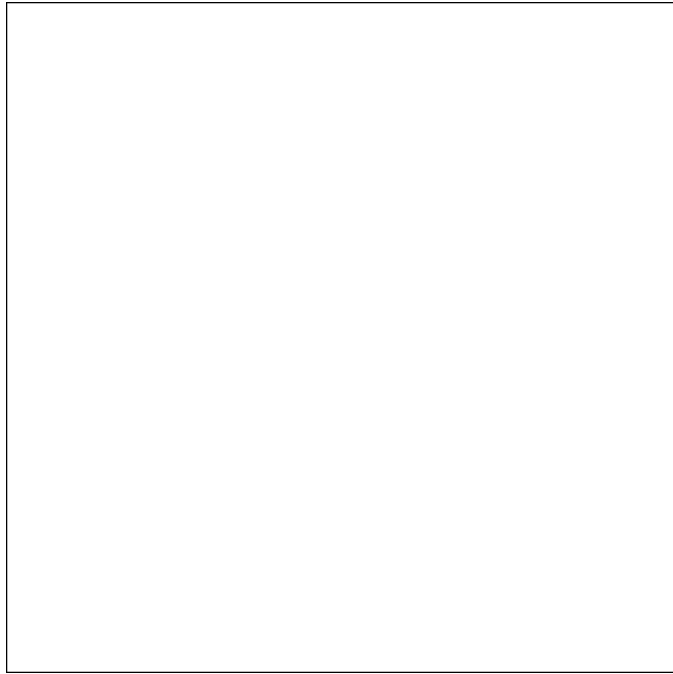
私たち全員が声をそろえて「私たちは生活を変えなければならないのだ」と叫びました。その日から私たちは問題を解決するために、みんなでもに取り組むようになったのです。

たくさん子どもたちは途中で学校をやめてしまいました。

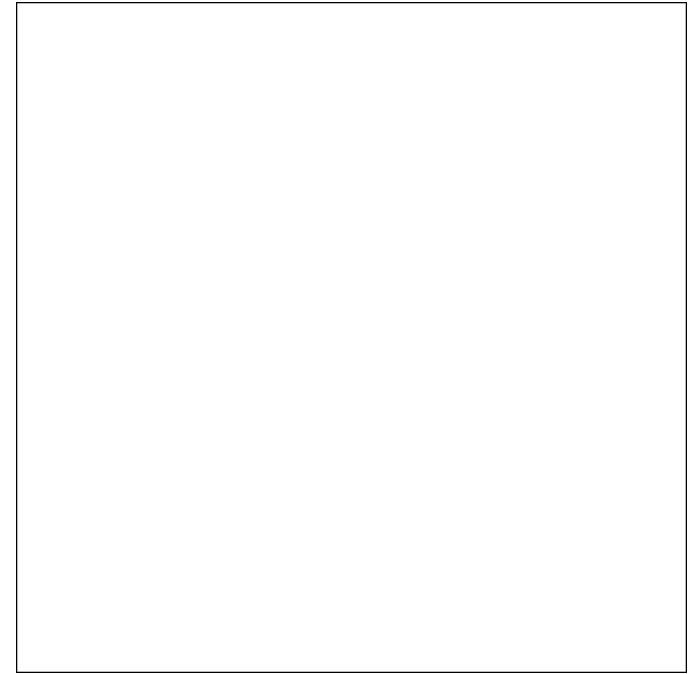


もう一人の男性が立ち上がって「男たちは井戸を掘ろう」と言いました。



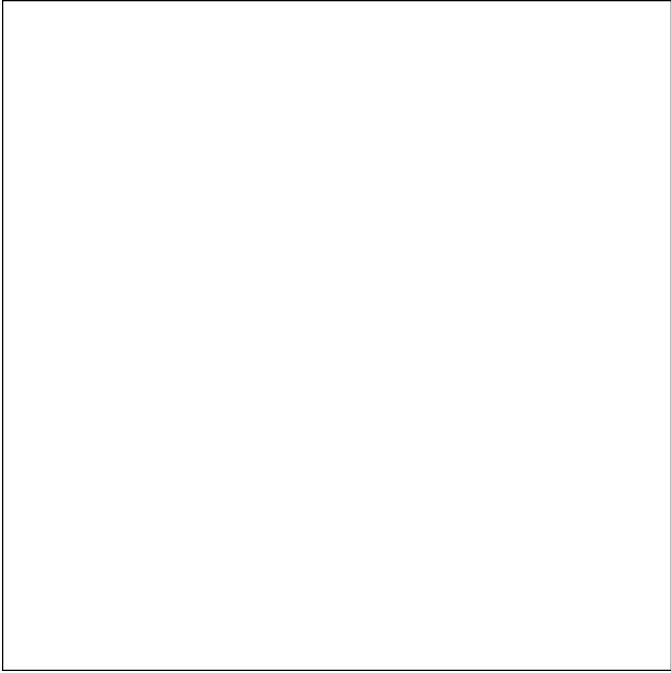


少女たちは他の村でメイドとして働いていました。

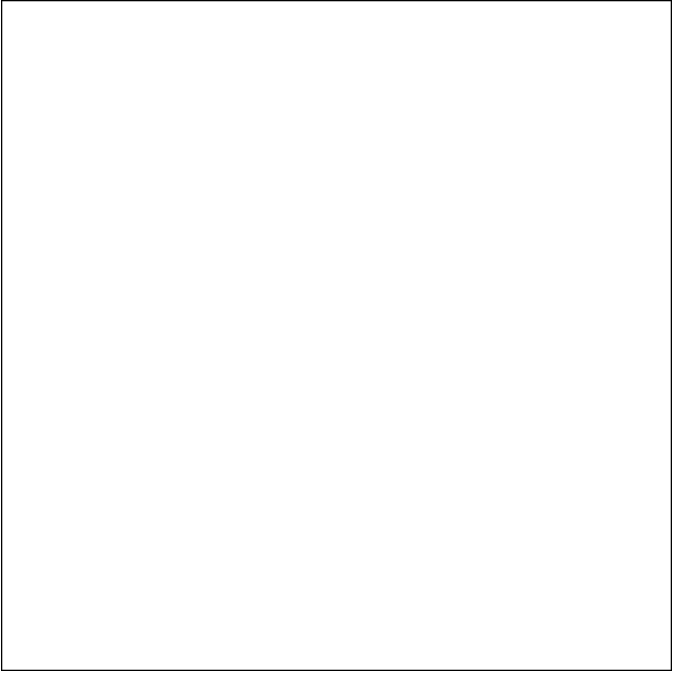


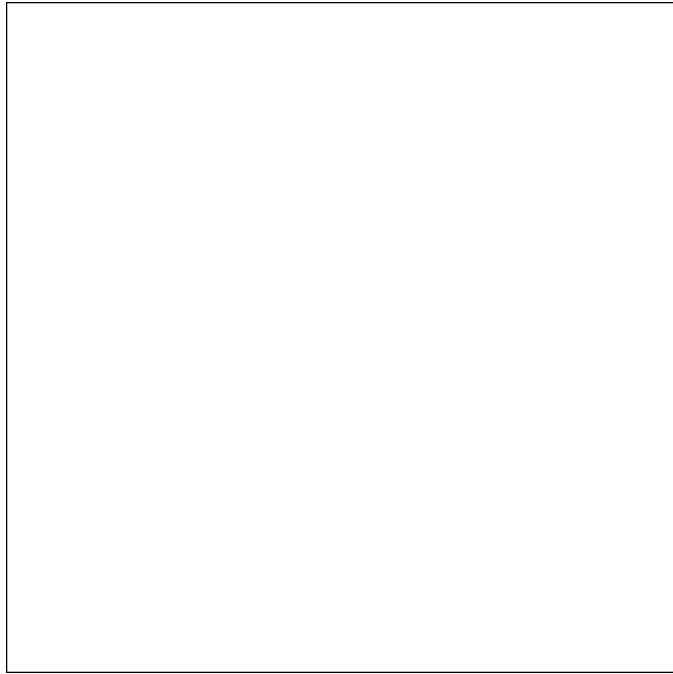
一人の女性が「女たちは私と食物の栽培を一緒にしましょう」と言いました。

木の幹に座っていた8歳のジューは
「僕、お掃除手伝えるよ」と叫びまし
た。

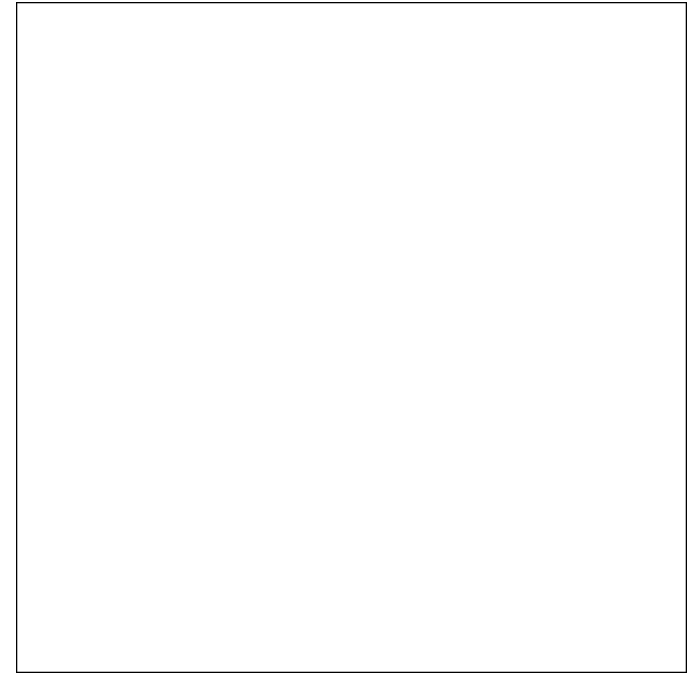


少年たちは他の人たちが農場で働く
間、村中をぶらついていました。



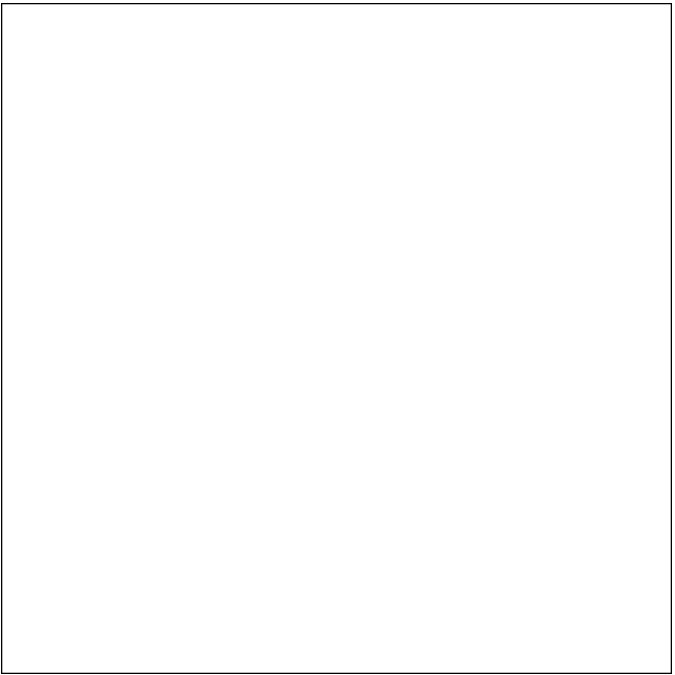


風が吹くと、ぼろ紙くずが木々やフェンスに引っかかっていました。

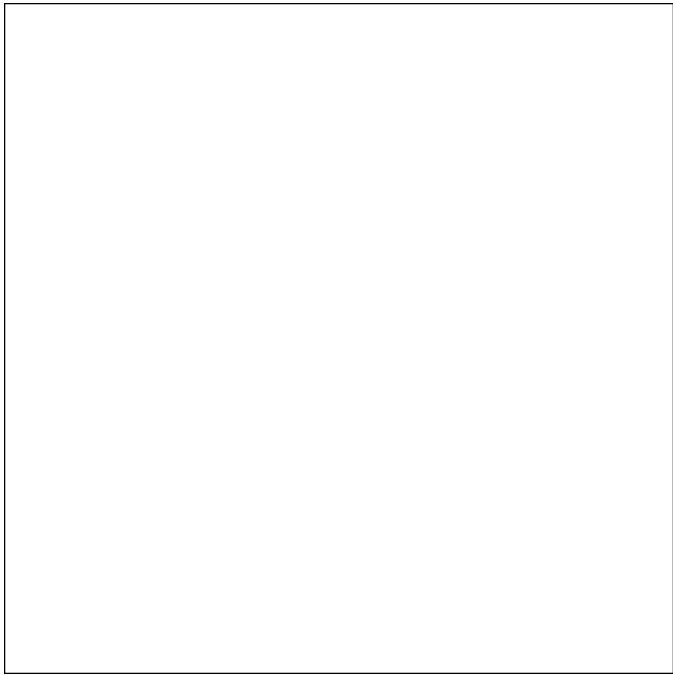


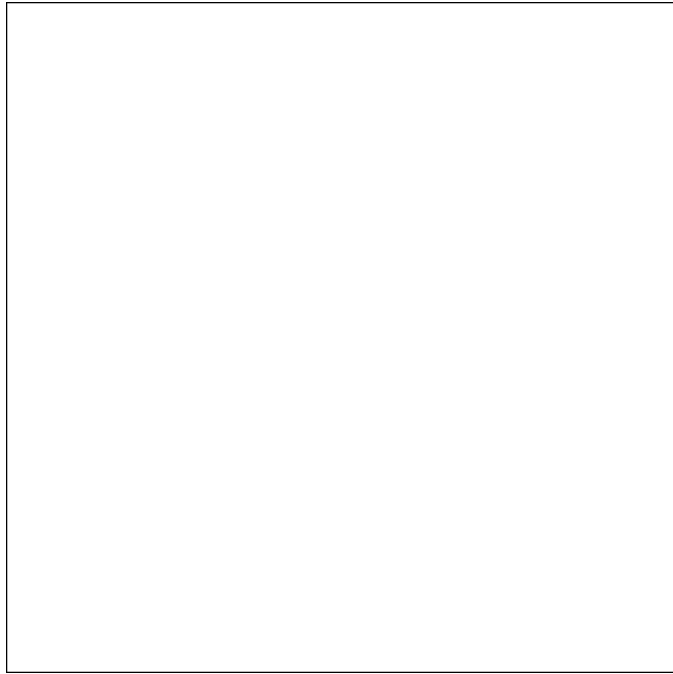
私のお父さんは立ち上がって「我々の問題を解決するために協力し合う必要があります」と言いました。

人々はさんざいに捨てられた割れガラスで切り傷ができました。

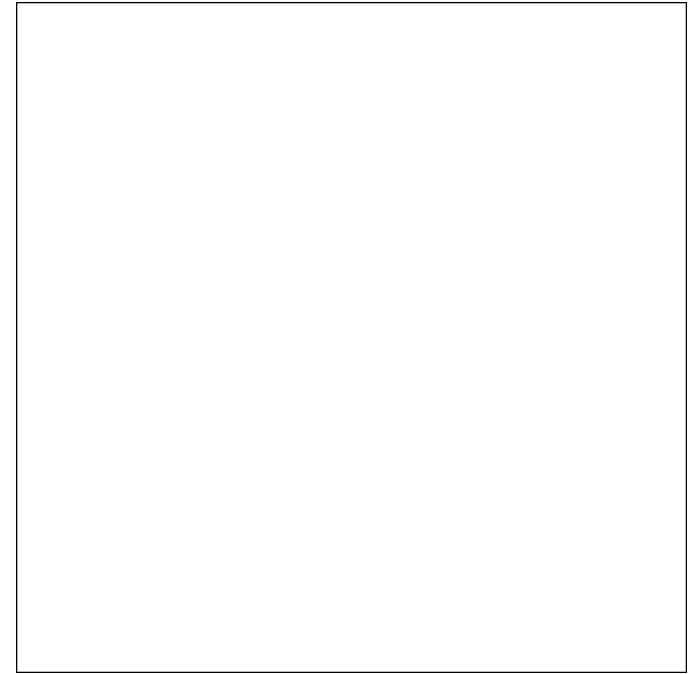


人々は大きな木の下に集まり聞き入りました。





そしてある日、蛇口が干上がり私たちの水入れは空っぽになってしまいました。



私のお父さんは村の会議に出席するよう人々に頼みながら、家から家へと歩きました。